



アルバイトする留学生▲

計がしやすいことも魅力です。とはいえ、介護福祉士取得を目指すには相当の日本語能力と、高い介護スキルを身に付けなければなりません。日本の文化や生活習慣への慣れ、仲間づくりにも時間を要するため、3機関による継続したサポートが不可欠です。

この仕組みは、スポンサー側のメリットも大きいです。一番は、日本語と介護の一定のスキルと高い志を持った留学生を確保できることです。また、他の3つの受入れ制度と比較して、入国に係る諸手続きの面倒さや、県の補助金により受入留学生一人当たりに係る費用負担額も抑えられるようです。

介護福祉士養成施設側にもメリットがあります。全国的に介護離れによる養成施設の淘汰がみられる近年、外国人留学生は大きな存在となります。

留学生にインタビュー

- 🎤 **日本に来た経緯は？**
「タイの学校で介護の勉強をしていました」「以前、日本の工場で働いたことがあります」
- 🎤 **来日して大変だったこと・努力したことは？**
「もちろん日本語！」「ゴミの分別や時間を守る。日本のルールは大変だけど慣れました」
- 🎤 **将来の夢は？**
「日本でケアマネとかやってみたい」「タイでグループホームをつくりたい」「利用者の方と関わるのが大好きなので、この仕事を続けたい」

デメリットもプラスに転換

デメリットは、スポンサー契約をしてから正職員採用になるまでの期間が約3年と長いことです。ただし、留学生は、留学期間の3年間において週28時間までのアルバイトが可能なので、空いている時間はスポンサー施設でアルバイトをしています。介護福祉士となるまでに時間はかかりますが、生活適応力を養い、その間にじつくりと仕事を覚え、利用者や職員と関係を構築できると考えれば、必ずしもマイナスとは言えないかもしれません。

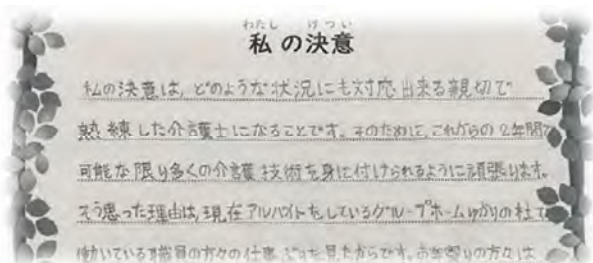


▲専門学校2年生となるタイから来た留学生

実践者の想い

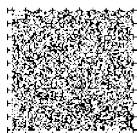
「介護人材確保の策として、外国人介護人材の導入にかけられるしか手立ては無いとさえ考えます。海外には、日本で介護技術を学び働きたいという、優秀で意欲の高い方がまだまだたくさんいます。スポンサー施設が集まれば、人材をもっと東北（宮城県）に呼び寄せられます。三者間（介護施設・日本語学校・介護福祉士養成施設）で、いかに

いかかもしれません。



▲留学生ミゾバットルタイボンさん(上段写真左から二人目)の作文「私の決意」より

連携できるか。この連携教育を広め、介護施設が職員やお年寄り、さらに外国人も含めた共生社会として広げられるかが宮城県版の外国人介護人材の地産地消への力ぎとなるでしょう。真つずぐな強い眼差しで語る八重樫さんに、実績から表れる誇りと熱意を感じました。



X (旧Twitter)
フォローしてね♪
@miyagijinzaic



検索 <https://www.fukushi-work.jp/>



お問い合わせ
宮城県福祉人材センター
(TEL : 022-262-9777)
(貸付専用 TEL : 022-399-8844)

ち い き を つ な ぐ

「広がれボランティアの輪」連絡会議30周年記念 「ボランティア全国フォーラム2024」が開催されました

令和6年9月7日(土)・8日(日)の2日間に渡り、「広がれボランティアの輪」連絡会議30周年記念「ボランティア全国フォーラム2024」が仙台市の東北福祉大学で開催されました。

「広がれボランティアの輪」連絡会議とは、あらゆる人々が「いつでも、どこでも、誰でも、気軽に、楽しく」ボランティア活動や市民活動に参加できるような環境づくり、気運づくりを目的に、平成6年に創設された全国的なボランティア・市民活動推進団体です。これまで、ボランティア・市民活動への全国的な参加呼びかけやボランティア・市民活動の在り方に関する懇談会やフォーラムの開催、提言活動等の広報・啓発活動を行っています。

令和6年、「広がれボランティアの輪」連絡会議は創設30周年を迎えました。そこで、日本のボランティア活動の転機となった東日本大震災の被災地である仙台市で、これまでのボランティア活動を振り返るとともに、これからのボランティアを考える機会として「ボランティア全国フォーラム2024」が開催され、本会も協力しました。

はじめに、「広がれボランティアの輪」連絡会議会長の上野谷加代子氏が「この連絡会議が30周年を迎えられたことは、構成団体や関係者の皆様のおかげである。また、参加者と一緒にボランティア・市民活動の現在と将来を語り合えることがとてもうれしい。あらゆる領域のボランティア活動は、自由が奪われず、個人の尊厳や主体性が守られながら続けられること



▲「広がれボランティアの輪」連絡会議 上野谷会長

開会挨拶

が重要である」と熱く語られました。

続いて、会場を御提供された共催団体

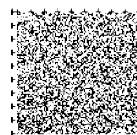
である東北福祉大学学長の千葉公慈氏が御挨拶されました。

記念講演

社会福祉法人全国社会福祉協議会会長の村木厚子氏が『「私にできること」をつなぐ』と題して、記念講演をされました。



▲全国社会福祉協議会 村木会長



村木氏は中学2年生の時にバン
グラデシユ洪水被害支援募金活動
で初めてボランティアを行ったこ
とを振り返り、「街頭に立ち、募
金をお願いする言葉を発するまで
のドキドキ感や言葉を発した際の
喜びを今でも忘れることができな
い」と話されました。また、東日
本大震災時の経験からは、「被災
者が厳しい状況に置かれても、誰
かのために役立てるという環境や
機会を作っていくことが大事だと
いうことを学んだ」とのこととし
た。

結びに、東京大学の熊谷晋一郎
教授から教わった「自立とは、た
くさんのものに少しずつ依存でき
るようになることである」という
言葉を引用し、「上手に他人の助
けを借りながら、自分にできる
こと」で周りの人々を助けること
ができる社会になればいい」と強
調されました。

シンポジウム

シンポジウムでは、『ボランティ



▲パネルディスカッションの様子



▲キーノートスピーチの様子



▲「災害時のボランティア活動を考える」分科会の様子

分科会

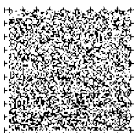
本フォーラム2日目の9月8日

アは文化として社会に定着したか
「広がれ」の実践を通じて語り
合う」と題して、第1部ではパ
ネルディスカッションが行われ、
「広がれボランティアの輪」連絡会
議が歩んできた30年間を振り返り
ました。第2部ではキーノートス
ピーチ（ボランティア実践者によ
る発表）と鼎談が行われました。

（目）には、6つの分科会が開催
されました。

このうち、「災害時のボランテ
ィア活動を考える」と題した分科
会では、実践報告者から東日本大
震災や、その後の度重なる自然災
害での災害ボランティア活動の取
組、そして、今現在も続いている
能登半島地震や令和6年7月に発
生した秋田県・山形県での豪雨災
害における被災者支援活動の報告
をいただき、参加者同士で災害時
のボランティア活動の進化につい
て考えました。

◆◆◆◆◆
本フォーラムには全国から多く
の参加者が集まり、ボランティア
活動や市民活動に対する熱い想い
が飛び交い、自分にできること
を考えるきっかけとなる素晴らしい
フォーラムでした。



東北中国帰国者 支援・交流センター

中国帰国者支援・交流センターは、全国に7か所あり、東北センターは仙台市に設置されていて、東北地区を所管しています。国から委託を受けて、宮城県社会福祉協議会が運営しています。

中国帰国者支援・交流センターってどんなところ？

第二次世界大戦の前、中国の旧満州地区には開拓団を始めとした多くの日本人が在住していました。戦争によって居住地を追われ、生活手段を失うなどして中国やソ連に残された婦人や子供を中国残留邦人等と呼びます。その方達は、昭和47年の日中国交正常化を機にようやく日本に帰国することができるようになりました。

中国帰国者支援・交流センターでは、中国からの帰国者が日本の故郷で、安心して生活できるように支援しています。

東北センターではどんなことをしているの？

- ① 日本語学習支援(日本語教室、パソコン教室)
- ② 遠隔学習支援(スクーリング)
- ③ 生活相談事業(困った時の相談場所)
- ④ 交流事業(日本の文化・生活習慣等を学び、楽しく交流)
- ⑤ 介護支援事業(介護事業所等を利用する高齢帰国者への語りかけボランティア)
- ⑥ 地域支援事業(中国帰国者が居住する地域の関係機関や支援者等と支援の輪の拡大)
- ⑦ 地域生活支援推進事業(地域定着した中国帰国者へのより一層の支援)
- ⑧ 中国残留邦人等への理解を

深める普及啓発事業

- ⑨ 中国残留邦人等の二世への就労支援
- ⑩ 通訳派遣事業

東北センターでは、中国帰国者と交流してくれるボランティアの方を随時募集しています。(中国語が話せなくても大丈夫です！)

また、自立支援通訳や語りかけボランティアなど、中国語が話せる方も随時募集しています。

開館日・時間

● 月曜日～土曜日

● 午前8時30分～午後5時

問い合わせ先

住所

仙台市青葉区上杉3-3-1
みやぎハートフルセンター内

連絡先

022 (263) 0948

相談専用

022 (223) 1152



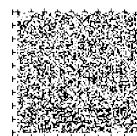
▲手工芸教室



▲健康体操教室



▲書道教室



宮城いきいき学園の活動紹介

気仙沼・本吉校編

平成8年に開校した気仙沼・本吉校は、今年度第27期生として17名の新生を迎えました。新入生が二桁を数えるのは実に8年ぶりで、2年生6名を含めた計23名の学園生が、様々な学習やスポーツ、文化活動に和気あいあいと取り組んでいます。

宮城いきいき学園は2学年制をとっていますが、気仙沼・本吉校の最大の特徴は、1年生と2年生が一緒に同じカリキュラムを学習していることです。東日本大震災や新型コロナウイルスの影響で、入学者が激減したことから、合同で行うようになりました。少ない人数でしたが、一人一人の結びつきが強くなり、2年生が1年生をリードしながら学習や様々な活動を行っていました。

● はじめての校外学習

6月に、1年生にとって初めての校外学習として、2年生と

合同で「森は海の恋人植樹祭」に参加しました。

今年で36回目を迎えるこの植樹祭は、漁師が森に木を植えることから始まったものです。学園生の皆様は、気仙沼市のお隣の岩手県一関市にある「ひこばえの森」に行き、ブナやナラなどの広葉樹を植樹してきました。山頂の風はとても心地よかったです。



● 公民館に感謝を込めて

奉仕活動

学習会場としてお世話になっている気仙沼中央公民館の花壇の除草作業を、同窓会の皆様と一緒に行いました。普段お会いする機会が少ない同窓会の先輩方と一緒に作業をすることによって、より「いきいき学園の一員」としての自覚が深まったように見えました。



宮城いきいき学園
令和7年度入学生を募集します

宮城いきいき学園では、生きがいと健康づくりを推進するとともに、地域社会の発展に寄与できる高齢者のリーダーとなる人材の育成及び地域貢献活動への参加を目的として、必要な知識を身につける学びの場を提供しています。

対象 県内居住の60歳以上の方
場所 ①仙南校②大崎校③石巻校

④気仙沼・本吉校
⑤登米・栗原校

募集人数 各校20～30人程度

学習日 年間約20日（2学年制）

募集期間 令和6年12月1日～

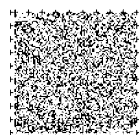
令和7年3月31日

入学金 5,000円

受講料 年間20,000円

詳しくは宮城県社会福祉協議会
いきがい推進センターまで

電話 022-(225) 8477



・ 県社協掲示板 ・

令和7年度福祉施策に対する要望書を提出しました

宮城県内の福祉団体から要望を募集し、本会からの要望と併せて、令和6年9月19日に宮城県に要望書を提出しました。提出した要望書及び宮城県からの回答は、本会ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

宮城県社協のホームページはこちら
<https://www.miyagi-sfk.net>



▲志賀保健福祉部長(左)と本会宮川会長(右)

温かい真心をありがとうございます

本会に寄附金をいただきました。温かい真心に感謝申し上げます。

＜寄附金＞
令和6年7月31日
株式会社 河北新報社さまより
社会福祉事業のために…………… 50,000円

International Care worker Program

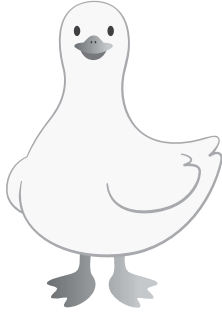


仙台育英学園高等学校
外国人介護士
育成プログラム



学校法人 仙台育英学園
〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野二丁目 4-1
Tel. 022-256-4141 (代表) / FAX. 022-299-2408

がんを含む
病気や
ケガの
備えに



— 月額保障×サービスでつくる —
新しい形の医療保険
REASON

心配な
「がん」の
備えに



●契約年齢●
0歳～
満85歳まで
※ご契約内容により異なります。

**「生きる」を創る
がん保険**
WINGS

◎商品の詳細は「パンフレット」「契約概要」などをご確認ください。

〈募集代理店〉(アフラックは代理店制度を採用しています)

ナカイ株式会社 本社

TEL 0120-816-751 FAX 0120-377-343

〒980-0011 仙台市青葉区上杉1丁目6-10 EARTH BLUE仙台勾当台7F

〈引受保険会社〉

「生きる」を創る。

Afac

アフラック
仙台総合支社
〒980-6122 宮城県仙台市青葉区中央1-3-1
アエル22階
Tel.022-262-5610

AFアツ課-2024-0244-2409005 5月10日

この印刷物は、植物性油インキを使用し、環境にやさしい水なし印刷方式を採用しています。



「福祉みやぎ」は宮城県社協のホームページでもご覧になれます。また、ご意見、ご感想、とりあげて欲しいテーマなどをお寄せください。表紙の作品も募集しています。

